



2023年9月26日 南砺福野中学校

### 「南極でのフィールドワークを通して考えたこと -参加までの経緯と南極での生活-」

中澤 暦と申します。  
2021年11月～2022年3月まで、第63次南極地域観測隊(夏隊) 隊員として参加しました。  
本日は、南極よもやま話をお楽しみください。



昭和基地と、しらせ艦内には郵便局があります。日本国内にはハガキ63円で届きます。

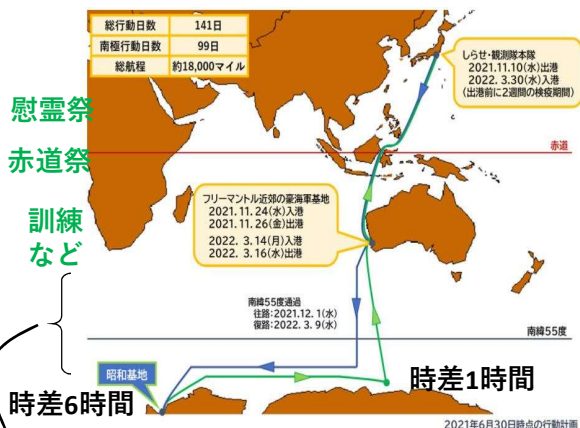
### -コロナ禍ゆえ、しらせに乗ったっきりの63次隊-

通常なら、観測隊隊員は日本からオーストラリアはまで飛行機で向かい、オーストラリアからしらせに乗りこみます。コロナ感染症拡大真った中、昭和基地は医療体制が脆弱なこともあり、63次隊は2週間の隔離の上、横須賀の自衛隊基地から、しらせ\*に乗りこみました。往復ともに、日本と南極大陸以外の陸地を踏むことはありませんでした。出国前のPCR検査で1回でも陽性になると参加不可、ここまでの準備が無に帰すので、隔離初日のPCR検査の結果を待つときは受験生が合格発表表を待つようにドキドキしました。

出航後はレイテ島慰霊祭、赤道祭、南極観測に関する訓練など

を行います。南緯40～60度は海が荒れることが知られます。観測隊の任務は南緯55度以降と決められており、どれだけ海が荒れても通過日は決まっています(大人の事情による)。しらせ内では食べることが楽しみとなり、多くの隊員が体重を増加させる結果になっていました。昭和基地には12月に到着、ここから約40日、忙しい日々の始まりです。

\*しらせは海上自衛隊が運航管理しています。



2021年6月30日時点の行動計画  
吠える40度、狂う50度、絶叫する60度



毎週金曜日はカレー(曜日感覚を取り戻すため。自衛隊式)



お風呂。シャワーは真水、湯舟は海水



赤道祭。安全な航海を願って行われる。赤道神から赤道通過のカギを受け取る。



南緯 40～60度、動揺(ゆれ)が激しい海域。

### -南極スタイルと観測-

南極はオゾンホールが出現する場所として有名ですが、本当に紫外線が強い！南極での生活ではオシャレのかけらもないスタイルでうろろしていました。私の完全防備ぶりをみて、同行した隊員からは「誰か分からん」というツッコミが続出しました。

私が参加した時期は南極の「夏\*」。皆さんが想像されるような羽绒服の出番は殆どありません。

南極と言うと、真っ白な世界が想像されますが、それもそのはず、98%は氷河と氷床に覆われています。

一方、残りの2%は露岩域と呼ばれ、岩盤が露出しています。こういった場所では夏の期間、湖沼(水たまり)があったり、コケなどをはじめとする植生が豊かに生きています。私は、陸上生物モニタリング隊員として参加、昭和基地と露岩域を大型ヘリでいったりきたりしながら、調査を行いました。

\*観測隊には夏隊と越冬隊があります。



南極大陸の98%は白銀の世界



調査地の一つの露岩域(スカーレン)



大量の荷物とともに、お迎えのヘリコプターに乗り込むのを待つ



2月初旬、昭和基地よりしらせに帰艦。南極大陸と別れ

### -「おもしろい！」と思う気持ちを大切に-

私が中学生だったころ、先生に「将来何になりたいの？ 図書館にある職業の本のシリーズを読んで何をしたいか探みなさい」と言われた記憶があります(手に取ってはみたものの実感もなく「面白くない・・・」が私の感想でした)。でも、きっと私も含めてほとんどの人は、「それが分かたら苦勞しないから！」と思っていのではないかなと想像します。

何の職業に就きたかったのか？という問いは私にとって今でも(ある意味)難題です。しかし、自分自身を振り返ってみると、普段の生活のなかで「これ面白いな」とか「これは嫌じゃないな、やってみようかな」という思える方を常に選択してきて今があるように思います。学校生活は画一的で、つまらないと感じることも多いかもしれませんが、でももう少し大人になったら見える世界も広がります。どんな些細なことでも大丈夫。自分にとって「おもしろい」と思う気持ちを大切に日々を過ごして、挑戦して行ってほしいと思います。

なかざわ こよみ  
**中澤 暦**

- 1999 神戸学院大学 人間科学部
- 2002 韓国梨花女子大学(交換留学、1年)
- 2004 神戸学院大学大学院人間科学研究科
- 2006 滋賀県立大学大学院環境科学研究科
- 2010～大阪大学、滋賀県立大学、福岡工業大学で研究員等
- 2021 富山県立大学工学部 環境・社会基盤工学科 講師  
2021.11～2022.03 第63次南極地域観測隊(夏隊) 参加

- とにかく重い、動きにくい誰かわからない(笑)
- 帽子またはヘルメット
- サングラス
- 日よけ(ヤケヌはおすすめ)
- ぶ厚めのレインウェア(ヤッケ)
- 一人一台無線(ケータイ使えません)
- GPS、カメラ
- オーバースボン
- 冷凍庫用の長靴か登山靴



調査用具、軽食、服、水筒・・・